予算決算委員会審査報告

平成23年度決算審査

予算決算委員会では、9月20日に総務文教分科会、9月21日に環境福祉分科会、9月24日に建設産業分科会を開催し、平成23年度決算の審査を行いました。その中であった質疑応答の一部を紹介します。

環境福祉分科会の様子

総務文教分科会

○国営笠岡湾干拓事業負担金

委員 この負担金の平成23年度末の収入未済額は3億9，500万円近くに及んでおり、また、納入義務者負担分が完納されているかどうかにかかわらず当面は市が納入しなければならないと聞くが、国に対し制度の改正を働きかけるべきではないか。

市 制度の大枠の変更は困難であるが、個々の納入義務者の経営の実情を適切に把握する等により未済額の縮減に努めていきたい。

○まちづくり協議会への地域担当職員の関わり方

委員 まちづくり協議会が発足してまだ日が浅いこともあり、どのような方向に進んでいけばよいのか迷っている地域もあると聞くが求めに応じて一定の助言・指導ができるように地域担当職員を育成すべきではないか。

市 地域担当職員連絡会議や研修を通じて職員を育成していきたい。

環境福祉分科会

○保育所改修事業

委員 現在の進捗状況と、今後の取組についてたずねる。

市 保育室のエアコンの設置については、7月末で完了。他の部屋とトイレの洋式化について、今後、年次的に行っていく。

○障害者就労支援補助金

委員 以前は、市内在住で市外に勤務している場合は支給されていなかった。今はどうか。

市 平成24年度より支給している。

○老人クラブ活動助成事業補助金

委員 事務局である社会福祉協議会へ補助金を交付しているとのことだが、自らが事務局機能を持つべきではないか。

市 老人クラブが主体的にできるよう助言していきたい。

建設産業分科会

○勤労青少年ホーム管理運営事業

委員 現在の利用率で、これほどの管理委託料の決算額はどうなのか。

市 現在の委託料を見直すために、指定管理者の公募を平成23年度中に行い、平成24年度から社会福祉協議会へ委託することとした。

○創業塾支援事業

委員 参加された方がどのように起業したのか。

市 従業員を雇い、助産院等、様々な分野で起業しているとの報告である。

○水道事業

委員 繰越欠損金が解消し水道料金の値下げを検討できないか。

市 安定供給を第一に考え、今後の設備維持管理を行いながら、市民の要望に応えるため資産管理を行っていく中で検討していきたい。